

授業改善推進プラン 算 数 [小学校第4～6学年]

昭島市立光華小学校

学年等	項目	内 容
令和 3 年度 第 4 学 年	学習に関する児童の実態・課題	○これまで学習した四則計算は9割程度の児童が身に付いている。 ▲文章題で何を聞かれているか理解できず、立式や作図ができない。 ▲定規やコンパス、分度器などの教具の性質を理解して作図をすることができない。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・文章題の題意を読み取り、既習事項を活用して問題解決をする力 ・教具の性質を理解して、それを活用する力
	具体的な授業改善の方策	・問題解決的な授業展開を行い、友達考え方を共有する。 ・定規やコンパス、分度器などを活用できるよう、適用問題に繰り返し取り組ませる。
	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○問題解決を中心とした授業や継続的な練習によって、わり算の筆算や分数の計算など正しい手順で計算する力が身に付いてきた。しかし、その解き方を説明したり、他の考えを出したりと自分の考えを表現することが苦手な児童も見られる。 ▲分度器やコンパスは、反復練習により使いこなせるようになったが、180度をこえる角度の測定や图形の作図などには、まだ苦手な児童も多く、練習を必要である。
令和 4 年度 第 5 学 年	学習に関する児童の実態・課題	○これまで学習した四則計算は9割程度の児童が身に付いている。 ▲計算能力はあるが、丁寧さに欠けるため、細かなミスが多い。 ▲文章問題で何を問われているかを理解できず、立式や作図ができない。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・問題場面をイメージし、図、絵、式などに表す力。
	具体的な授業改善の方策	・キーワードとなる言葉や数字を四角で囲ませ、自分なりのイメージ図を書かせる。 ・分かったことを図や表に書き込ませる。
	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	
令和 5 年度 第 6 学 年	学習に関する児童の実態・課題	
	教科で身に付けさせたい資質・能力	
	具体的な授業改善の方策	
	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	